



ひかり健康保険組合からのお便り

お仕事おつかれさまです。

ひかり健康保険組合では、加入者皆様の健康維持・増進を目的とした保健事業を展開していきます。

今回は、ジェネリック医薬品についてお届けいたします。

第92話：ジェネリック医薬品何でもQ&A



Q. 『ジェネリック医薬品』って何？

A. お医者さんで処方してもらうお薬には「先発医薬品(新薬)」と、同じ成分、同じ効果で価格の安い薬「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」があります。

「新薬」として最初に発売された薬は特許に守られ、開発したメーカーが独占的にその薬を製造販売することができます。これが「先発医薬品」です。ところが20～25年の特許期間が切れると、他のメーカーも同じ成分、同じ効果のお薬を製造できるようになります。これが「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」で、その価格は先発医薬品よりも安く設定されています。

Q. ジェネリック医薬品はなぜ安い？

A. 先発医薬品に比べて、開発時間や研究費などが少なく済むので安い価格が設定できます。

先発医薬品は、その成分から開発し、有効性、安全性を確認後承認されて発売されるため、研究に20～30年かかるといわれ、その費用も200～300億円と莫大です。

しかし、ジェネリック医薬品はすでに使われていて有効性も安全性も確かめられた成分ですから、承認までの手続きが少なくなります。開発や研究にかかる時間も金額も少ないので、国が先発医薬品より安い価格に設定しています。

Q. ジェネリック医薬品を使うメリットはあるの？

A. 薬代の負担が減るのはもちろん、医療費の抑制にもつながります。

患者さんの薬代の負担が減り、家庭での医療費の節約に役立ちます。

また慢性疾患では、薬代が高いからといって、通院や薬の服用をやめてしまう人も少なくありません。でも、お薬は飲み続けることが大切です。ジェネリック医薬品の使用により、正しい治療を無理なく続けられる環境が整います。そしてひいては高騰する医療費の抑制にもつながります。

Q. どうすれば処方してもらえるの？

A. まずは、かかりつけ医の先生か保険調剤薬局にご相談ください。

国の方針として採用がすすめられているジェネリック医薬品ですが、現在、どこの医療機関でも扱われているわけではありません。ジェネリック医薬品を使うには医師の処方が必要ですので、まずはかかりつけ医の先生か保険調剤薬局にご相談してみてください。



◆免疫力をつける(6)◆

Q. 運動をすると免疫力がアップする？

A. ホント

いつもじっとしているより、ちょっとでもカラダを動かすようにしたほうがいい。運動することで体温が上がり、免疫力のアップにつながってくるからだ。また、運動を続けることで筋肉量が増加して、カラダの基礎代謝が上がり、全身の血行がよくなるとともに 冷えにくい体質も作ることができる。これも免疫力増強の助けとなる。ただし、運動をしている間、自律神経は緊張状態にあり、また、過酷な運動はかえってカラダにストレスになるこ

ともある。運動後は、ストレッチしながらゆっくりリラックス。疲労を残さないようにすることが大切だ。



■けんこう通信

ご家庭のパソコンへ、保健事業に関するお便りを配信しております。

ご希望の方は、登録のためメールアドレスを添えてinfo@hikarikenpo.or.jp(当組合宛)までお気軽にメールください。

■こころとからだの健康相談

健康に関わるお悩みのときは、「こころとからだの健康相談」

フリーダイヤル0120-835-839(はい参考、はいサンキュウ)を安心してご利用ください。

■ひかり健康保険組合への

ご意見・ご要望はinfo@hikarikenpo.or.jpまでぜひお寄せください。

ひかり健康保険組合 <http://www.hikarikenpo.or.jp>

〒171-0022

東京都豊島区南池袋1丁目16番15号 光センタービル2F

tel: 03-5951-7422 fax: 03-5951-9663

